

武藏高校を去るにあたつて

有馬敏行

(都立戸山高校学校長)

四月一日付で、五年間の武藏高校の生活を離れて、都立戸山高校に転勤いたしました。長い間お世話になりました。感謝の念でいっぱいです。

五年前という月日は長いようであつたしました。長い間お世話になりました。昭和四十五年四月の初め、小笠原から内地に上陸して、武藏高校の始業式に真黒な顔で臨んだ時のこと、つい数か月前のことのように思い出されます。

武藏在任中に、皆様の御協力によつて増改築工事が一応完了したことや

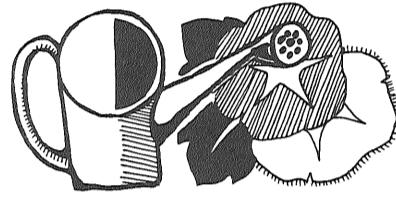
れしく思います。グラウンドの整備も間もなく完了し、校庭の緑化も進められるこでしよう。

同窓会の方々には大ばきヒュッテの修理など、いろいろとお世話になりました。年一回の総会に出席することも楽しみでした。

武藏の生活は、良い生徒諸君、温かい教職員の方々にめぐまれて、ほんとうに楽しめたと思います。これからも同窓会の皆さんと同じ気持でときどき武藏を訪ねたいと思います。

後任の中村校長先生もたいへん良い方です。私同様、どうぞよろしくお願ひいたします。

それでは、同総会の皆様もお元気で、いよいよどうぞ。



なつかしい木造校舎

加藤薫

(都立赤城台高校教頭)

私を暖かく包んで下さったこのすべてに対し深かい感謝の念で一杯です。本当にありがとうございました。

武藏在職十八年は私の半世であり、私の心の古里です。同窓生のみなさんと長く長く友情を暖めあって行きたいと思います。赤城台高校は東西線早稲田または有楽町線江戸川橋で下車して七、八分のところにあります。近かくに来られたときは寄つて下さい。むさし同窓生のみなさんのご発展を心より願いお別れのことばいたします。

昨年の十一月十六日付をもちまして、長い間お世話になりました武藏高校とお別れをし、郡立赤城台高等学校に転任することになりました。

昭和三十二年四月に隅田川のほとりにある蔵前工業高校より自然に恵まれた武藏高校に転任してまいりました。当時はまだ桜堤閉地ではなく、あたりはぼつんぼつんと農家が点在し、学校は武藏野の蔭を色濃くとどめる雑木林に開まれていました。(木造のL字型の校舎と特別教室、貧弱な体育館等がけやたりと当てはまるそんな静かな学校でした。私も歳をとり老いのかげりが忍び寄る年代になつたせいか、現在の立派な鉄筋校舎・体育館ではなく、赴任時の武藏高校を無性に懐かしく思います。当時教えた生徒さんたちは今や三千台の働き盛り、男の方も女の方も社会に家庭にと中心的役割を果たしておられます。自然のみならず当時の生

徒を懐しむ心が深まるばかりです。今私は鉄筋の校舎とせまい校地しかない、コンクリートで固められた都心の学校で、今までと異なった役割を担うとしています。武藏高校には比較的少なかつた悩み、武藏高校には毎日自分なりに努力を多く抱えて、毎日自分なりに努力をしていました。武藏時代に結婚し、子供が生まれ、その子供もこの四月から高校生です。四十四年十一月から翌年の四十五年に渡つて続いた学校紛争は、何事にも驚かない強じんな力を育ててくれました。そして、物事を多面的にとらえる彈力的な考え方、将来を見通す広く高い姿勢が必要であることを教えてくれました。

豊かな自然、立派な校舎、それでも増して大切なことは立派な教師この三人者が揃つてはじめて眞の教育ができるのではないかと痛感する今日此の頃ではないかと痛感する今日此の頃です。最後に一番大事なことは、魂を吹き込むに値する、意欲に燃えた生徒がそこにあるということですが、武藏はそのすべてにおいて恵まれていました。